

○ 提案説明資料

「流域ものさし」の利用について（案）

2017.12.22

区分	内 容	摘要
使用事例	<ul style="list-style-type: none"> ・水調べ 地点・場所の状態・景観に加えてスケールとする。（別添参照） ・生き物調べ 採取した生物等の脇においてスケールとする。（同上） 	写真記録用 写真記録・汎用
	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ調べ 多く散乱・堆積した個所、マイクロプラスチック・異物の脇においてスケールとする。 ・流木調べ 見つけた漂着流木・外来種等に置いてスケールとする。 ・砂礫調べ 川辺歩きや河床観察で、砂礫の脇においてスケールとする。 	写真用（転送） 写真用 写真用
使用適性	<ul style="list-style-type: none"> ・サイズ 小さい。携帯に便利。 ・質 量 軽い。携帯に便利。 ・強 度 良い。水に濡れても膨張や歪みなし。 ・デザイン モザイク調で面白い。 ・計量性 ゴミ・流木・砂礫など、データ化（構成比・定量化）の可能性がある。 立木成長量・枯死量・病歴等、外来種生育密度等 	サイクリングやウォーキングの友 銀紙利用で合図・着火サバイバル品 流域の物質収支に関連 炭素量、環境管理データ
使用課題	<ul style="list-style-type: none"> ・長 さ 中・大型の動植物を正確に測り難い。二倍に繋がると良い。（別添参照） ・厚 さ 生物の体長等を正確に測り難い。エッジがあると良い。（別添参照） ・その他 体積が測定できると良い。柵のような凹型もあるとよい。（別添参照） 落失などの防止機能が無い。隅に穿孔があると紐を通して首掛けできる。 携帯の意義が分かりにくい。 個々の製造・携帯識別・追跡ができない。 	記載情報が少ない。 無印
発展性 テーマへの連鎖	<ul style="list-style-type: none"> ・汎用性 山・川・海の課題、優れもの、発見、探検、遊び、科学への誘い 地域・連携イベント、クリーン活動へ誘い・・・（仮）流域は一つ発表会 ・形 状 ガラ系、柵系 ・サイズ ガラ系 ・組合せ つなげる、あわせる等 	案：流域圏人口 160 万人の 1%が携帯 すると、1.6 万枚生産・配布が必要。 1,000 円/枚会員（販売・助成、3 年有 効とすれば 1.6 千万円/3 年の NPO 活 動が可能。「木づかい」編へ社会実験。）
副次的・相乗性	<ul style="list-style-type: none"> ・識別番号 裏面に記載（焼印？）。（仮）流域圏ポイント（「木づかい」編に連鎖） ・携帯意義 流域圏意識へ 	エコ活動、愛知目標に繋がる 3 県・三河湾水産レベルの話題

（作成 野田）